

支 援

2010年度 学校支援ボランティア

感謝状贈呈式開催(2/21)

2月21日(月)、2010年度 学校支援ボランティア 感謝状贈呈式が、市民フォーラムで開催されました。各学校から推薦された12団体と個人44名が、渋谷教育長より表彰されました。ボランティアコーディネーター(以下VC)は、表彰された方を含め37名が出席しました。学校からも校長先生・副校長先生はじめPTA関係者など、合計で170名ほどの参加をいただき、盛大な贈呈式となりました。

表彰対象分野は「授業支援ボランティア」「学校支援ボランティア」「図書ボランティア」「学校セーフティーボランティア」「コミュニティ委員会」「環境学習支援ボランティア」「部活動指導ボランティア」「クラブ活動指導ボランティア」「美化ボランティア」「学校支援VC」に分類させていただきました。

5つのグループに分かれた表彰式の後で、山口運営委員(統括指導主事)から町田市全体の学校支援ボランティアの取り組みの説明がありました。

次に、南大谷中学校ボランティアコーディネータの前野さんに、「サウスウィンド」と「フラッグアート」を中

心に実践発表をしていただきました。その後、大戸小学校VCの吉田さん、牛山さんに「大学・地域と連携した取り組み」の発表を、最後に、本町田小学校VC大河内さん、渡邊さん、武井さんに「校内組織を生かした取り組み」の実践発表をしていただきました。

これら3校は、事前に何回か学校支援センターと打ち合わせを行い、発表に臨みました。これまで、このような経験があまりない中、よくがんばっていただきました。きっと、各学校の参考になったことと思います。

これらの発表も踏まえて、記念講演を日本大学教授 佐藤 晴雄氏より行っていただきました。白板も使って、熱のこもったご講演でした。



事例発表：南大谷中 VC 前野紀夫氏



記念講演：日本大学教授 佐藤晴雄氏

感謝状贈呈式に参加された皆様のアンケートの中から紹介いたします。

- 私の場合は5年間という学校セーフティーボランティアですが、今回の様に形として感謝状を頂いた事に対して満足しております。今後の励みにもなります。ありがとうございます。
- 具体的な活動が参加者によく理解され、市内に広げられるよい場でした。
- 日常生活の忙しい中でのボランティアコーディネーターは努力が必要であり、大変感心しております。事例発表もよくまとめられており満足です。御苦労様でした。今後の努力をよろしく願います。
- 様々なことに取り組んでいる事がよくわかりました。また、やり方も様々でよいのだと思いました。一人ではできないですね。
- 他校の素晴らしい事例発表を聞かせていただき、参考になることがたくさんありました。学校とのつながり（連携）の重要性を更に感じました。
- 大変参考になりました。学校経営及び地域連携に役立てていきたいと思えます。
- 講演は専門的な話で今後の活動に役に立つ内容でした。V・Cは具体的認識へのサポーターである必要性が理解できました。
- とても理解しやすく、保護者である私がおかえりする時に、どう伝えれば良いか？地域の方にどう伝えれば良いか。また、その必要性が見えました。すごく楽しい講演でした。ありがとうございます。
- 子どもに対するときの接し方などが「わかるけど、わからない」の講話から、とても勉強になりました。コーディネーターとしての役割を勉強させていただきました。とてもおもしろい講話でした。
- 各種ボランティアの努力に対する感謝の気持ちが形として見られ大変良いと思えます。今後も続けて開いてほしいと感じています。ボランティア活動をしている人の励みになります。

副校長先生に感謝とお願い

年度末の活動日誌の提出につきましては、締切日の3月7日（月）に全て集まらず、学校やVCの皆様は何回もお電話をさしあげ、持参していただいたり、FAXにて送信をしたりしていただきました。おかげさまで、東京都への報告・提出が3月15日（火）に済みました。

また、文科省からの学校支援ボランティア取組状況に関する調査におきましても、ご協力いただきありがとうございました。新年度に改めて調査結果等を、ご報告させていただきます。

この間、年度末で大変お忙しい中、副校長先生方にはVCへの連絡や届出にご尽力いただきまして、ありがとうございました。心より感謝申し上げますとともに、学校支援センター事業の維持・発展のために、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

また、新年度の準備を行う時期と思えますが可能な限り学校便りやPTA便りで、VCを紹介していただければと思います。その後のVCの活動に大いに役立ちますので、よろしくお願い致します。

ボランティアコーディネーターに感謝・感謝

一年間の活動を終えるに当たり、コーディネーターの皆様のご尽力に対し感謝申し上げます。無理なお願いもしたかと思えます。地域の皆さんと学校とをつなぐにあたり、軋轢もあつたことでしょう。それぞれの思いがすんなりと当てはまるものではありません。そんな中でも実現に向けて取り組んでいただき、活動日誌の量は昨年度を大幅に上回りました。

春から、すべての小・中学校にボランティアコーディネーターを配置する準備が整いました。新たな体制で、新しい仲間も加えて、私たち自身もつながりを深めてがんばりましょう。

ボランティア登録更新手続きを行います

2011年度から学校支援センター事業の体制が変わることを契機に、これまで登録していただいた400名近い方々の更新を行います。本来なら毎年行うところですが、今回の体制変更をもって、心機一転、登録更新をお願いします。できるだけ更新してほしいと思っています。お知り合いの方から相談を受けましたら、よろしくお願い致します。

成瀬台中学校 第14回「社会人先生」[3/5(土)]

今年度で14回目を迎えた歴史ある成瀬台中学校の取り組み「社会人先生」を参観させていただきました。最初は3年生だけが対象で、8講座だったそうです。専門家や地域の方、卒業生などが講師として指導してくださっていました。講師控え室の図書室は人がいっぱい、取り組みの歴史を感じました。



講師控え室にて：たくさんの講師が自己紹介



あなたも記者になってみませんか：新聞記者の仕事

鶴川第一小学校 「茶道体験」[3/4(金)]

6年生が茶道体験を行いました。当日は畳の部屋がある鶴川中学校へ行き、実施しました。「町田茶道協会」の方、15名ほどが講師として指導してくださいました。掛け軸、一輪挿しの花、和菓子もあり、本格的な「場」がしつらえてありました。校長先生や担任がお手本としてまず指導を受けてから、全員が指導を受けました。作法という名の礼儀を重視した、日本文化の粋を感じました。

茶道協会会長さんやVCとの懇談の中で、畳がないからとあきらめないで、近所のお寺の本堂を借りたらどうだろうという案が浮かびました。皆様、リサーチされてはいかがでしょうか。



南第三小学校 「ケニア大使館 3等書記官を講師にお招きして」 [3/3(木)]

6年生の授業でケニアのことを調べたいという6年生からの要望で、VCが大使館に照会したところ、大使館の3等書記官が来てくださることになり、参観に行きました。ケニアがいかに勉強に力を入れているかというお話が印象的でした。また、子どもたちが折り紙で作った「つるしびな」をととても喜んでいました。この授業により、子どもたちのケニアに対する印象が変わったことでしょう。



忠生第三小学校 「木曾の昔」 [1/27(木)]

忠生第三小学校のある地域はかつて木曾町といました。木曾義仲との関連が言われている、古くからの歴史がある地域です。地域の歴史を学ぶための、以前からお住まいの方による、明治時代の大きな古地図を持参していただいた授業の様子を参観に行きました。

かえるを食べた話など、とても面白かったです。中でも、大雨のとき父親が病気になったため歩いて相原の青木医院まで行ったというお話は、まるで「豆太」のようでした。



大きな古地図を見ながら…

